

区自治協議会提案事業 事業評価書

中央区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	住環境の再生～バスを中心とした公共交通～
事業目的・概要	「バスを中心とした公共交通」をテーマに、住民・利用者の視点から公共交通の課題や解決策を検討する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>○今後、バスをより多くの人から利用してもらう上での課題を列挙したうち、より重要な課題を2つに整理した。</p> <p>課題①「乗ったことがない」「よくわからない」ことによる心理的バリア 課題②バスよりも車のほうが便利(と感じること)</p> <p>○それぞれの課題に対する「PR強化」と「利便性向上」にかかる方策を検討し、「バス利用促進・環境改善プロジェクト」と題した資料にまとめた。</p> <p>○当部会で試行的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にいがた新バスシステム時刻・運賃検索」PRチラシの作成 ・区役所窓口で転入者に対して交付している「転入セット」に上記チラシを封入 ・区内の公共施設、病院など広域から多数の人が集まる場所で上記チラシを掲示 ・NEXT21の1階アトリウムに公共交通案内の模範としてラックを設置 <p>○中央区地域公共交通検討会議の場で、各関係団体へ提案</p> <p>＜警察署＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許返納者へ公共交通の案内強化として制度の紹介などのチラシ配布 <p>＜新潟交通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停分散地区に各バス停の乗り場及び現在地を明確に知らせるマップの設置 ・バス停表示を近くの店舗名などの入った分かりやすい表示に変更 ・バス車内のWi-Fi設備や電源、ネット環境の整備 など
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>○当部会の委員は、バス利用者とはバスを利用していない人の視点があることから、バスを利用するうえでの課題と問題点が2つの視点から整理できた。</p> <p>また、1号委員だけでなく、公共交通研究家が部会のメンバー となっていることによって、より専門的な観点から課題解決に対する取組みを行うことができた。</p> <p>○部会で作成した「にいがた新バスシステム時刻・運賃検索」PRチラシについては、新潟市へ転入される人に配布することによって、今後のバス利用へつながるものと期待される。</p> <p>○また上記チラシを公共施設などに掲示したが、掲示スペースの問題から、施設によって、公共交通の案内の充実度にバラつきがあった。しかし掲示施設数を増やすことで、今後のバス利用者の増加につながることを期待される。</p> <p>○当部会で課題解決に向けた方策を検討し、「中央区地域公共交通検討会議」で関係機関に直接、質問・提案できたことにより、それぞれの関係機関の取組状況も知ることができ、それを全体会議で委員にも伝えることができ、情報の共有ができたことは評価できる。</p> <p>○ハード整備にかかる高額な費用をはじめ、バスに関する様々な課題を再認識できた。</p> <p>○NEXT21の1階アトリウムにバスの時刻表やお得な制度の案内などを入れるラックを設置したことで、今まで5階の地域課窓口まで取りに行かなければならないという不便さが解消された。また1階に置くことで不特定多数の人の目に触れることから、公共交通の利用の意識醸成につながることを期待できる。</p> <p>○来年度以降も、引き続き、「にいがた新バスシステム時刻・運賃検索」PRチラシの活用や公共施設での案内掲示の充実など、区民のバス利用の意識向上につなげていきたい。</p>
備考	